

# 中期経営計画（2016年 4月-2019年 3月） 進捗状況と今後の見通しについて

2017年 7月 5日

株式会社 図 研

東証一部上場 証券コード 6947

# 目次

---

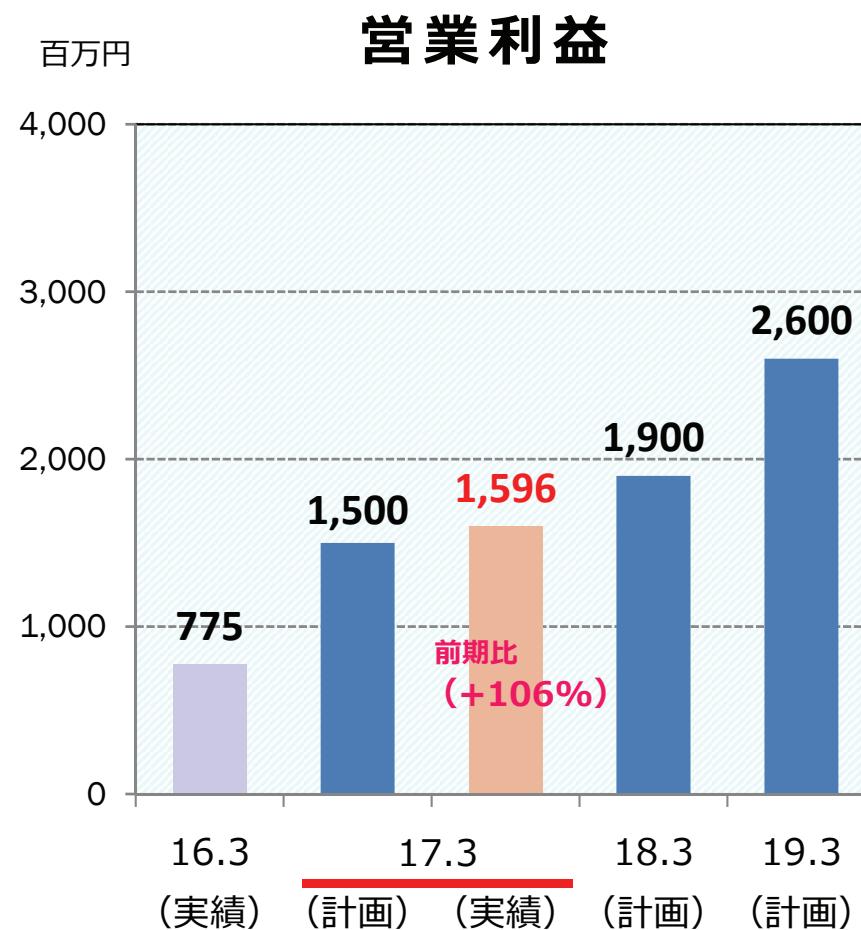
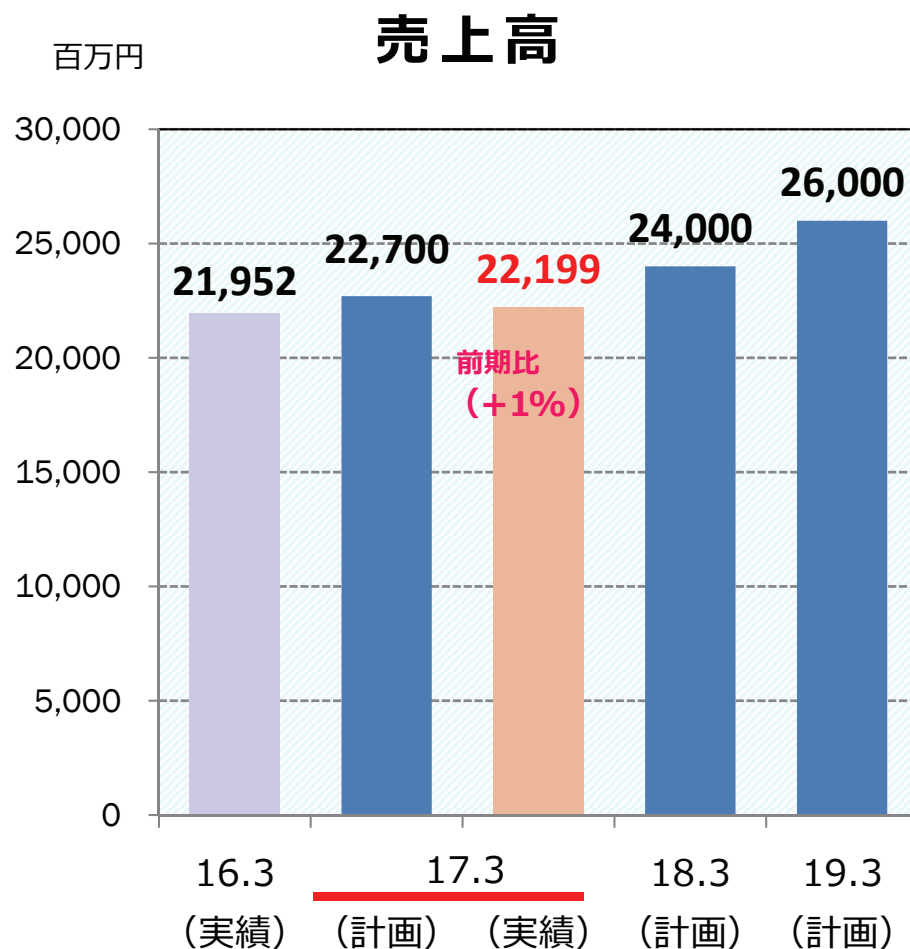
- 中期計画初年度の結果概要
- 製品分野別、地域別（海外）の状況について
- 総括と今後の見通しについて

【ご参考資料】図研について

## 中期計画初年度の結果概要

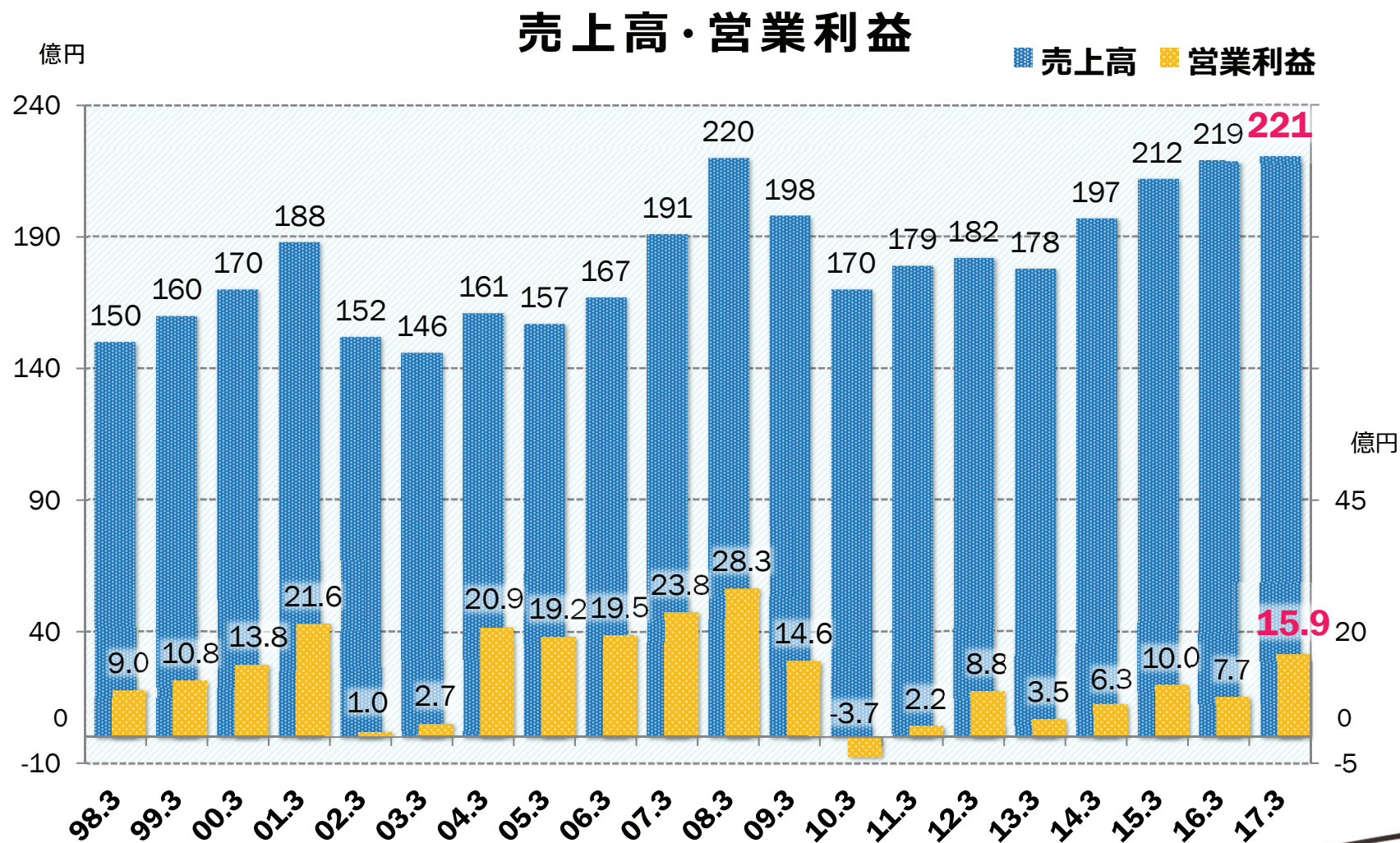
A decorative graphic consisting of three thick, wavy lines. The top line is grey, the middle line is yellow, and the bottom line is blue. They flow from left to right across the page, with the grey line being the highest and the blue line being the lowest.

# 1. 中期売上・利益目標と初年度（17.3）実績



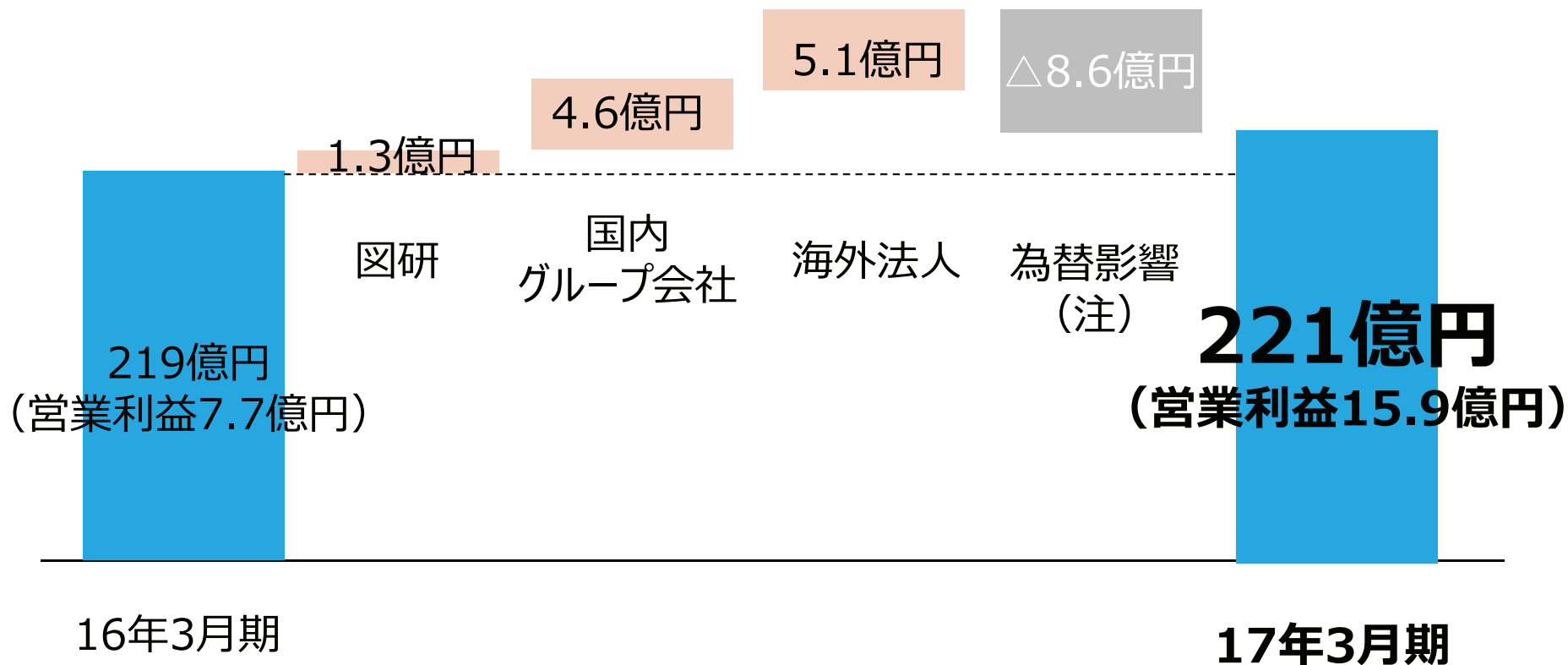
17.3期計画の前提為替レート    1USDドル = **110**円    1ユーロ = **125**円  
 17.3期累計期間の平均為替レート    1USDドル = **108**円    1ユーロ = **119**円

## 2. 業績の推移 (1998-2017)



売上高は過去最高

### 3. 事業体別の昨年度対比①



16.3期累計期間の平均為替レート 1USDドル = **120**円 1ユーロ = **133**円  
 17.3期累計期間の平均為替レート 1USDドル = **108**円 1ユーロ = **119**円

(注) 為替影響は海外法人売上に対する影響

### 3. 事業体別の昨年度対比②

売上高 (※) 百万円	16.3 (全売上に占める割合)	17.3 (全売上に占める割合)	増減
図研 (親会社)	8,754 (40%)	8,885 (40%)	+131
海外法人	6,991 (32%)	6,642 (30%)	△348
国内グループ会社	6,206 (28%)	6,670 (30%)	+464

営業利益 百万円	16.3	17.3	増減
図研 (親会社)	431	546	+115
海外法人	34	484	+449
国内グループ会社	319	492	+172

※ グループ間取引除く

# 4. 図研グループの事業領域

**NetWave**

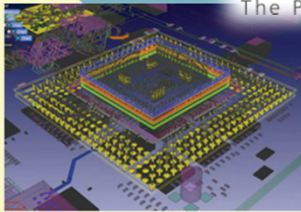
もっと速く、もっと安全に

ネットワーク  
セキュリティ

エレクトロニクス設計ソリューション  
(EDA)

エレクトロニクス製品開発における  
実装設計を支援するソリューションと  
サービス

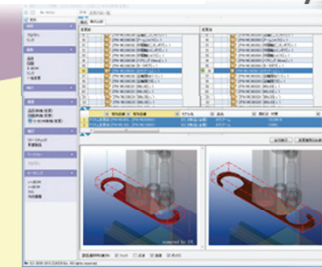
**ZUKEN**  
The Partner For Success



モノづくり基盤ソリューション  
(PLMなど)

BOM、ナレッジマネジメントなど製造業  
向けエンタープライズITソリューションと  
サービス

まっ先に、めざす先。  
**PreSight**



電装・制御系設計  
メカ設計ソリューション  
(ワイヤーハーネスCAD・3DCADなど)

車両向け・産業機械向け電装・制御系設計、  
3Dメカニカル設計ソリューションとサービス

組込み  
SW/IP

**Elmic**



サービス  
サポート

**図研テック**



## 5. IoT時代のモノづくりに向け強化していく取り組み

IoTを前提とした社会

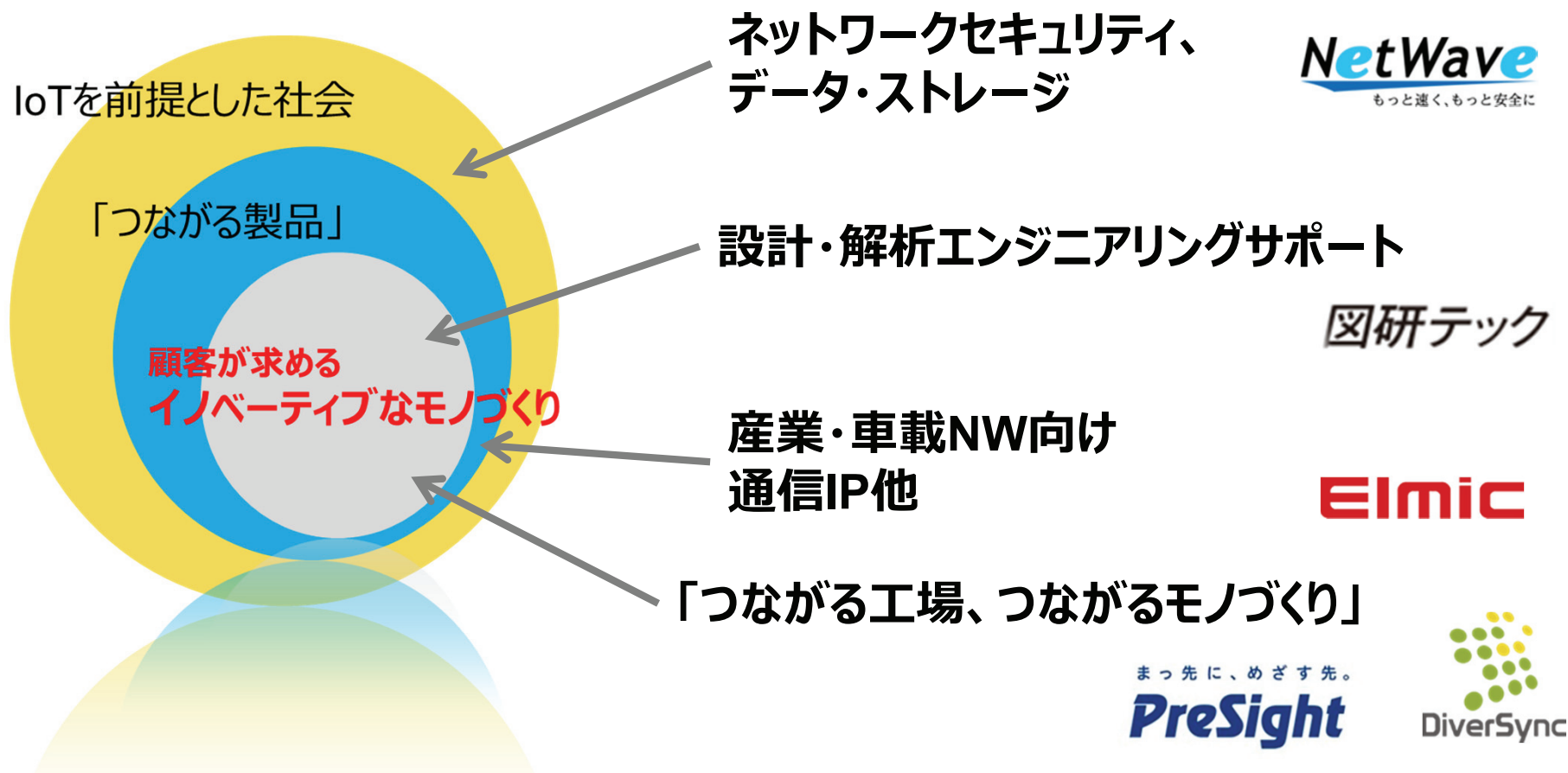
「つながる製品」

顧客が求める  
イノベーティブなモノづくり

- ① システム設計分野への注力  
モデルベース・システムエンジニアリング、  
モデルベース開発
- ② インテグレーション提案力の強化  
ソリューション×プロセス・コンサルティング、  
社外の技術も統合して提案  
→プラットフォーム戦略
- ③ 先端技術開発への積極的な参画  
オープンイノベーション（大学、企業）

グループシナジー、パートナーシップ、M&Aで実現

## 6. IoT社会に向けた図研グループのシナジー



「IoT」社会で求められるインフラ製品、要素技術、サービスを  
グループで幅広く提供

## 製品分野別、地域別（海外）の状況について



# 中期経営計画基本方針/重点戦略

---

## ■ E/E設計データ管理（PDM）市場開拓

\*E/E: Electrical & Electronic

## ■ 完成車メーカーへの次世代製品導入促進

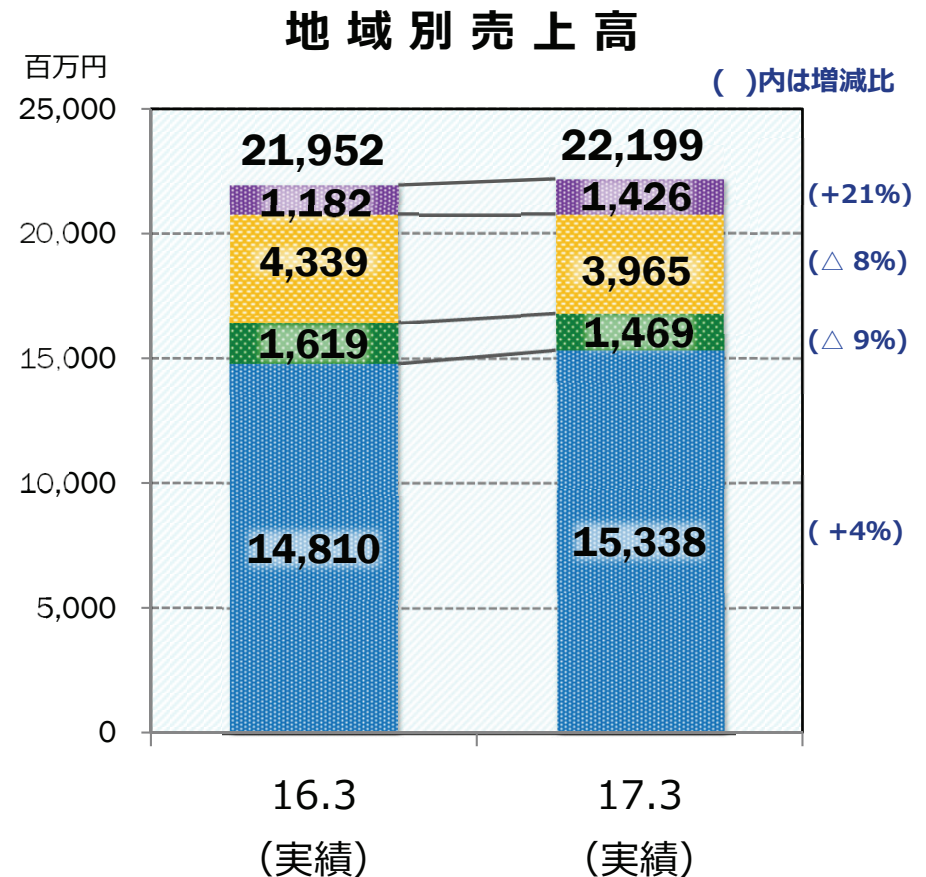
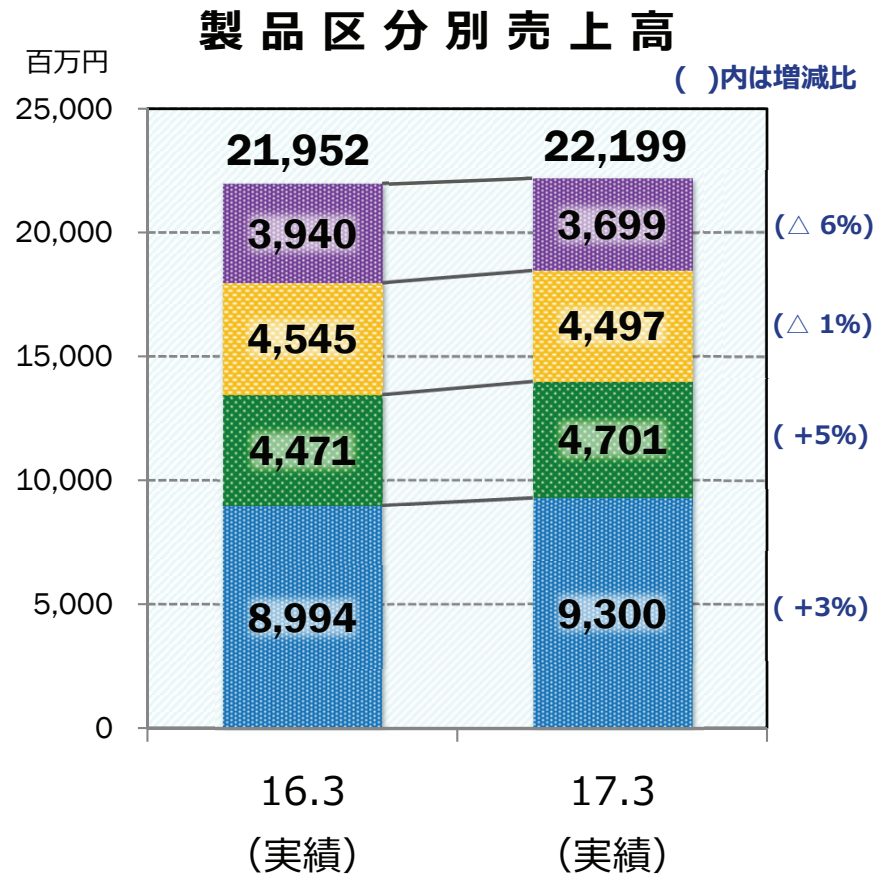
## ■ 北米市場、アジア市場での事業拡大

→ 北米戦略顧客との関係をアジアのサプライチェーンに展開

## ■ CR-8000 Design Forceで 先端実装市場開拓

## ■ 機動的なM&Aで、事業の強化・拡大 プラス10億円の売上増目指す

# 7. 製品区分別・地域別当期実績 (昨年度対比)



■ 基板設計ソリューション  
■ ITソリューション

■ 回路設計・ICソリューション  
■ クライアントサービス他








■ 米国 ■ 欧州 ■ アジア ■ 日本

16.3期累計期間の平均為替レート 1USDドル = 120円 1ユーロ = 133円

17.3期累計期間の平均為替レート 1USDドル = 108円 1ユーロ = 119円

# 各製品区分に含まれる主な製品と関係会社売上

【各製品区分に含まれる主な製品】

製品区分	主な製品
基板設計ソリューション	CR-8000 Design Force CR-8000 DFM Center CR-5000 Board Designer 
回路設計・ICソリューション	CR-8000 Design Gateway CR-8000 System Planner E3.series Cabling Designer Harness Designer  
ITソリューション	visual BOM Knowledge Explorer DS-2    
クライアントサービス他	(各製品の保守サービス)

# 中期計画説明における製品分野のご説明について

IR資料の製品区分と事業進捗の関連性をよりわかりやすくするため、今後中期経営計画のご説明においては、以下の分類でご説明をいたします。

## 中期計画説明

基板設計ソリューション

回路設計・ICソリューション

ITソリューション

クライアントサービス

①デザイン・オートメーション製品分野

②データマネジメント製品分野

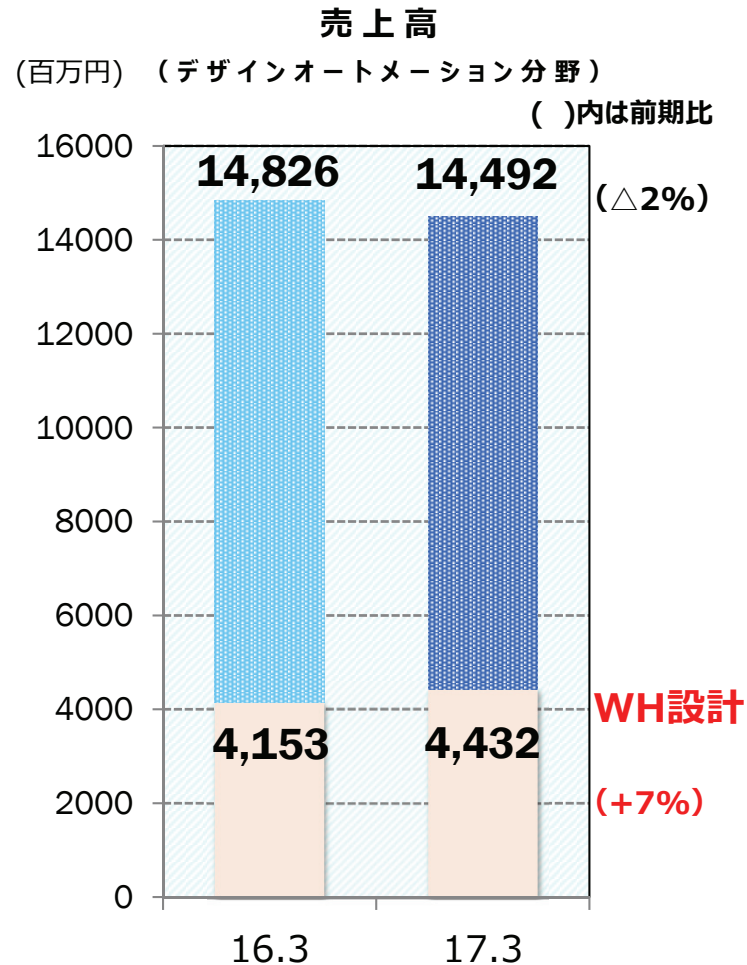
## 8. 製品分野別 当期実績（昨年度対比）

製品分野 百万円	16.3	17.3	増減	伸び率
デザイン・オートメーション分野	14,826	<b>14,492</b>	△334	△2%
（内、WH設計）	(4,153)	<b>(4,432)</b>	+278	+7%
データマネジメント分野	7,125	<b>7,707</b>	+581	+8%
売上高 計	21,952	<b>22,199</b>	+246	+1%



# 9. 製品分野別 販売状況と今後の施策①

## デザイン・オートメーション分野



### 17.3期の概況

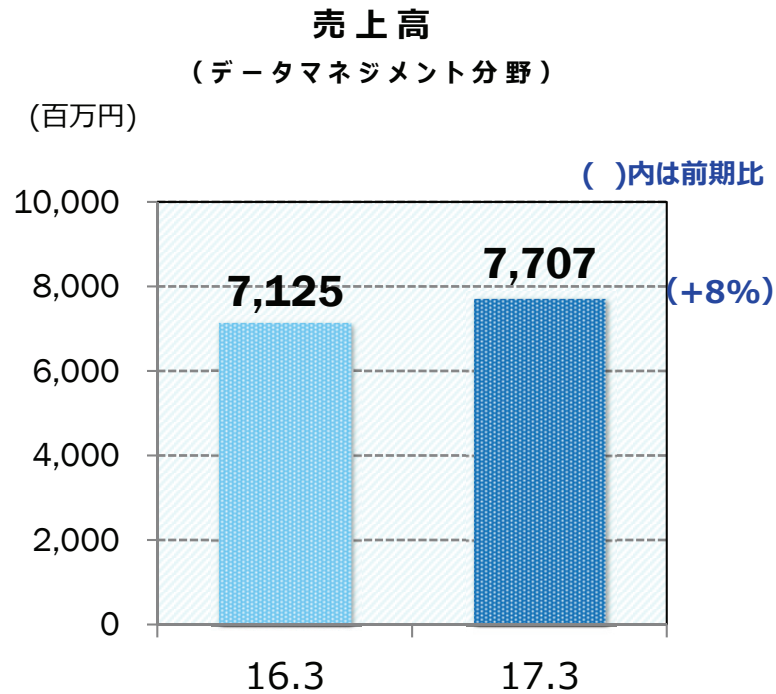
- 売上の前期比減は、円高影響による欧米売上分の円貨での減少によるもの。現地通貨ベースではともに増加。
- 自動車関連は世界的に堅調。電子部品関連についても、徐々に上向き傾向。

### 今後の施策

- 電装化の進展、モノづくりのIT化で市場拡大が予想される自動車関連・産業機械向け拡販に注力。
- 特に自動車関連市場については新技術、新プロセス導入への取組みが増加。これらのニーズを確実にビジネスにつなぐ。

## 9. 製品分野別 販売状況と今後の施策②

### データマネジメント分野



### 17.3期の概況

- 国内は、セキュリティ関連の売上（図研ネットワーク）が大きく増加。
- 主力のデータ管理システム「DS-2」は、北米、中国において重要顧客から受注。

### 今後の施策

- 新製品「DS-E3」を欧州で先行発表、大手E3ユーザを中心に拡販。国内でも下期より販売開始。
- Electric & Electronic (E/E) 設計データマネジメントのプラットフォーム製品としてグローバルにマーケティングを開始。
- セキュリティ、PLM関連はIoT普及で需要増を見込む。

# 【トピックス】 E/E設計データマネジメント 新製品発表

**Zuken Announces new Strategy for Streamlining Data and Workflow Management and Increasing Electrical and Electronic Engineering Productivity**

New electrical data and workflow solution available now

18 May 2017 – Munich, Germany – Zuken announces a new strategy for increasing engineering productivity in the manufacturing sector, based on:

- A new, streamlined approach for managing electrical and electronic engineering data and processes, based on handling work-in-progress data within the ECAD environment.
- A new electrical data and workflow management solution, DS-E3, which joins Zuken's existing portfolio of data management applications.

Christoph Letterer, Head of Electrical and Software Engineering Tailormade, Stadler Rail said: "Receiving version-proof data from our electrical design team forms the basis of our optimized manufacturing process. Stadler has therefore decided to use DS-E3 for managing its electrical engineering work-in-progress data."

Benjamin Nivoort, Managing Director Europe, Zuken, said: "This new solution has the potential to boost productivity in many sectors, as it can meet the challenges of design reuse, configure-to-order, and electromechanical product development."

**Increase productivity by reducing interfaces**

The impetus for Zuken's new approach is the number of companies spending increasing amounts on technology to cope with growing design complexity, coupled with the pressure to increase engineering productivity.

"Receiving version-proof data from our electrical design team forms the basis of our optimized manufacturing process. Stadler has therefore decided to use DS-E3 for managing its electrical engineering work-in-progress data."

Christoph Letterer, Head of Electrical and Software Engineering Tailormade, Stadler Rail

Zuken has challenged the assumption that it makes sense to hold all the interdisciplinary data and workflow information in one system. By managing work-in-progress data information within a discipline-specific environment, engineering processes are streamlined and synchronized with cross-discipline PLM and ERP systems.

Known as 'domain data management', this approach combats one of the main reasons PLM and other systems fail to provide the required depth of integration, take longer, and cost more than expected. Understanding the native ECAD data model enables design reuse, and offers the missing link that PLM, ERP and other systems need in order to run efficiently.

**Direct integration increases productivity**

Zuken's new electrical data and workflow management solution integrates directly into Zuken's E3 series suite for electrical and fluid design, so engineers do not need to leave their CAD application to carry out everyday tasks. Engineers can increase their productivity by reducing the number of individual applications and user interfaces they use.

DS-E3 is designed specifically for electrical design and manufacturing engineers. It provides them with current, validated material information and manages design data and BOM information to manage tasks and workflow

DS-2

DS CR

DS E3

図研製プリント基板設計用の  
データマネジメント・システム

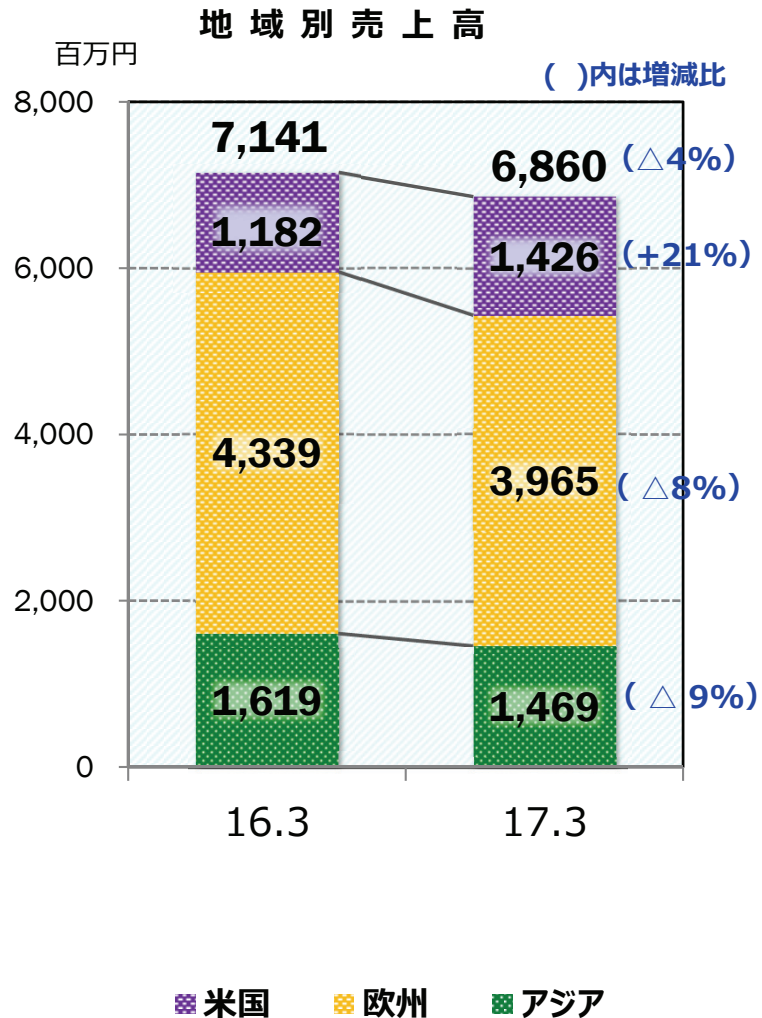


ワイヤハーネスまで含む  
E/E（電子・電気）設計  
データマネジメント・システム  
プラットフォームに拡張

2017年5月ドイツで先行発表、国内は10月にリリース予定  
欧米で強い顧客基盤を持つ「E3.series」大手ユーザへの拡販

# 10. 地域別（海外）販売状況と今後の施策

## 海外事業



### 17.3期の概況

- 【米国】E3.seriesを中心に販売は好調。
- 【欧州】産業機械、車載関連など既存重要顧客への商談は堅調。  
(現地通貨ベースでは前期比+4%)
- 【アジア】中国の車載関連企業向け、インドの航空宇宙関連の政府系企業向けビジネスは好調なるも、韓国大手顧客、東南アジア日系企業向けが落ち込む。

### 今後の施策

- 【米国】引き続き、戦略顧客向け商談に注力、データマネジメント製品拡販。
- 【欧州】主要顧客へのCR-5000からCR-8000のマイグレーション提案、データマネジメント新製品のマーケティング強化。
- 【アジア】中国、インドは顧客層の拡大により安定成長を目指す。東南アジアは現地系企業への拡販強化。

## 総括と今後の見通しについて



## 11. 中期経営計画 初年度の総括と今後の見通し

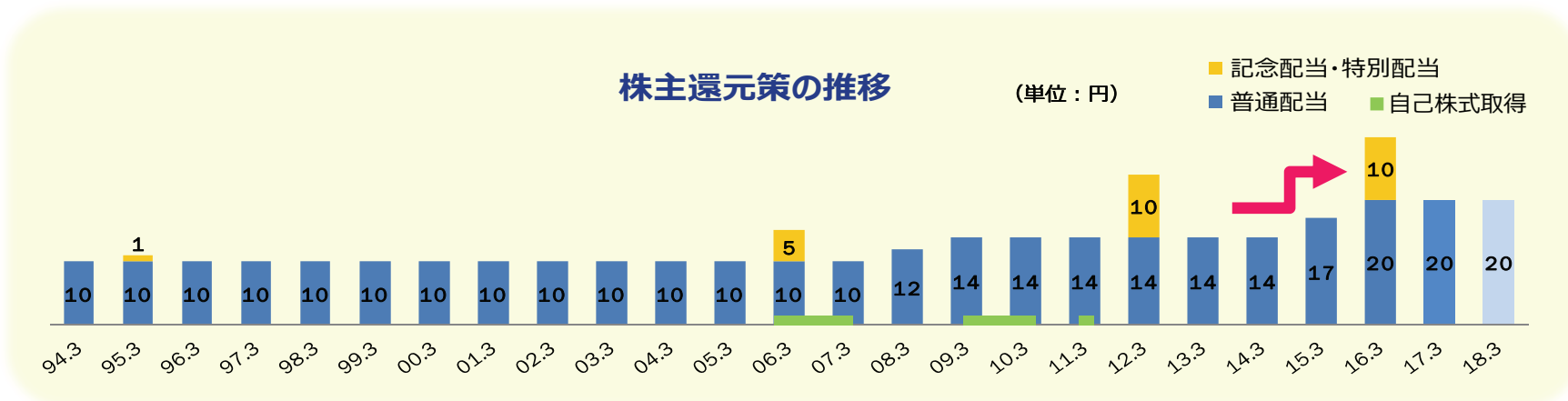
---

- 国内市場環境は緩やかな回復基調。  
オートモーティブ・IoT分野などにおいて  
新技術・新プロセスへの投資意欲は継続。
- 北米、欧州は大手戦略顧客への  
「CR-8000」マイグレーション提案、  
新製品「DS-E3」などの商談増加を見込む。
- アジアは、市場環境がやや不透明ながらも、  
好調なインド市場拡販などによる売上増を  
目指す。

**売上・利益ともに中期計画の数値目標に変更はありません。**

# 12. 株主還元策

**方針** 株主の皆様への利益還元を経営上の重要な政策と位置づけており、経営基盤と財務体質の強化、充実を図るとともに、業績や経営環境等を勘案し、適宜、最も効果的な株主還元策を実施していく。



## 実績 普通配当

1987年の上場以来、年換算1株当たり10円以上の配当を継続。2015年3月期の期末配当は、1株当たり7円から10円に増配。これにより、2016年3月期は年間20円となる。今後も安定的な増額を目指す。

## 記念配当・特別配当

1995年3月期および2006年3月期には記念配当、2012年3月期には特別配当を実施。2016年3月期には記念配当10円を実施。

## 自己株式取得

2005年06月～2006年06月	2,000,000株
2008年11月～2009年11月	636,500株
2011年02月～同年03月	2,000,000株
<b>合計</b>	<b>4,636,500株</b>

(2011年3月消却済み)

ご清聴ありがとうございました。

The page features three decorative wavy lines. A yellow line starts on the left and curves upwards. A grey line starts below the yellow one, curves downwards, and then rises towards the right. A dark blue line starts below the grey one, curves downwards, and then rises towards the right, ending at the top right corner.



【ご参考資料】

図研について

The page features three decorative wavy lines that sweep across the lower half. From top to bottom, they are a yellow line, a grey line, and a dark blue line. The lines are smooth and fluid, creating a sense of movement and modern design.

# 会社概要

<b>社名</b>	株式会社 図研 (ZUKEN Inc.)
<b>設立</b>	1976年 (昭和51年) 12月17日
<b>資本金</b>	101億1,706万5千円
<b>従業員数</b>	単独409人 連結1,197人 (2017年3月末現在)
<b>株式</b>	東証1部上場 (証券コード6947)

## 役員

代表取締役社長	: 金子 真人	監査役(常勤)	: 和田 扶佐夫
代表取締役副社長	: 勝部 迅也	監査役※	: 尾崎 靖
常務取締役	: 仮屋 和浩	監査役※	: 半田 高史
常務取締役	: 相馬 肅一		
取締役	: 大澤 岳夫		
取締役	: 早乙女 幸一		
取締役※	: 佐野 高志		
取締役※	: 荒井 洋一		

※は社外取締役および社外監査役です。

# 拠点および国内関連会社

本社・中央研究所	横浜市都筑区
国内拠点	横浜、大阪、名古屋
海外拠点	アジア：5か国、欧米：8か国
国内関連会社	5社(図研テック・図研ネットウェイブ・図研エルミック・図研プリサイト・ダイバーシク)



# 沿革 ①

- 1976 12 株式会社図形処理技術研究所を設立
- '78 06 国産初のプリント基板設計用CADシステム「CR-2000」を開発
- '83 11 米国にZUKEN AMERICA Inc. (現、ZUKEN USA Inc.) を設立
- '85 06 株式会社図形処理技術研究所から株式会社図研に社名変更
- '87 06 株式を店頭登録売買銘柄として(社)日本証券業協会に登録
- '88 01 CADの新システム「CR-3000」を開発
- '91 10 株式を東証2部にEDA企業として初めて上場
- '92 01 ドイツにZUKEN EUROPE GmbH (現、ZUKEN GmbH) を設立
- 01 韓国ソウル市にZUKEN KOREA Inc.を設立
- 08 シンガポールにZUKEN SINGAPORE Pte.Ltd.を設立
- '93 08 中国に北京事務所開設
- '94 04 EDA垂直統合ソリューション「CR-5000」を開発
- 06 英国レーカル・リダック社の全株式を買収
- 09 東証1部へ指定替
- '97 05 (株)図研プロセスデザイン研究所 (現、図研テック(株)) を設立
- 2000 03 独インケイシス社の全株式を買収
- '01 04 図研ネットウェイブ(株)を設立
- '02 06 中国上海市に「上海テクニカルセンター」を設立



本社・研究所 (横浜)



Zuken Ltd. &  
Zuken Technology Center (UK)

# 沿革 ②

- '04 02 E&E業界に特化したPLMソリューション「ePLMプラットフォームDS-2」発表
- '05 08 台湾にZUKEN TAIWAN Inc.を設立
- '06 05 独CIM-TEAM社を買収（現、ZUKEN E3 GmbH）
- '07 06 CATIA V5をベースとした「V54EE」を発売
- '08 06 エルミック・ウェスコムの株式を27%取得、図研の持分法適用会社に
- '09 06 SoC事業部をエルミック・ウェスコムに統合。7月1日から図研エルミック(株)に社名変更
- '10 05 ラティス・テクノロジー(株)と資本提携、トヨタに次ぐ第二位の株主に
- '11 06 BOMと超軽量三次元フォーマットXVLを統合した「visual BOM」を発表
- 10 次世代電子機器設計システム「CR-8000」を世界で同時発表
- '13 09 アメリカ・シリコンバレーにZUKEN SOZO Centerを設置
- '14 08 グローバル・オートモーティブ&トランスポーテーション・コンピテンス・センターをドイツに開設
- '14 12 東洋ビジネスエンジニアリング(株)と資本業務提携
- '15 02 合弁会社(株)ダイバーシクを設立（出資割合 図研51% 東洋ビジネスエンジニアリング49%）
- '15 03 インドにZuken India Private Limitedを設立
- '15 07 (株)ワイ・ディ・シーのCADVANCE事業を承継
- '16 04 プリサイト事業部を分社化し、(株)図研プリサイトとして発足



Zuken GmbH  
(Germany)



EMC Technology Center  
(Germany)



ZUKEN SOZO Center  
(USA)

## < 注意事項 >

---

本資料に記載されている情報には、将来の業績等に関する見通しが含まれています。これらの見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づいて当社グループにより判断されたものであり、様々な潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。したがって、実際の業績等はこれらの影響を受けるものであり、記載された見通しと大きく異なる結果となることをご承知おきください。実際の業績等に影響を与えうるリスク・要素には、各国の経済情勢、顧客企業の設備投資の動向、市場の需要動向、製品の開発状況、他社との競合、為替レートの変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

なお、本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する現在の推定を表すものではなく、当社グループが事業戦略を遂行することにより達成しようと努める目標を表すものがあります。

**お問い合わせ先**

**株式会社 図 研**

コーポレートマーケティング室

横浜市都筑区荏田東2-25-1

電話 045-942-1511 (代表)